

早刈り向けいぐさ品種「夕凧」の畳表加工特性

早刈り向けいぐさ品種「夕凧」(系統名:有明5号)は、「岡山3号」に比べ部分変色茎が少なく、丈夫で硬い感触で良質の畳表が製織可能である。

農業研究センターい業研究所加工研究室(担当者:森崎和義)

研究のねらい

いぐさ新品種「夕凧」(系統名:有明5号)は部分変色茎が少なく丈夫であり、この特性を十分に生かした早刈り栽培での良質畳表生産に向け、その加工特性を解明する。

研究の成果

1. 「夕凧」の茎の太さは1.31mmで、「岡山3号」(1.34mm)と同等である(データ略)。
2. 「夕凧」の茎の硬度は75%で、「岡山3号」(70%)より高い(図1)。
3. 500本当たり織り幅は、長い(120cm以上)、中い(105~120cm)とも、茎の硬度に比例し、「夕凧」が「岡山3号」より幅広く製織できる(図2)。
4. 「夕凧」は「岡山3号」より茎及び畳表ともに摩耗に強く、丈夫な畳表が製織できる(図3,4)。
5. 畳表の評価では、「夕凧」が「岡山3号」より色調及び品位に優れ、総合評価が高い(図5)。
6. 「夕凧」は「岡山3号」より短い時間で良質な畳表が加工可能である(データ略)。

普及上の留意点

1. 茎の硬度が高いため畳表加工に当たっては莖面の滑らかさを確保するため、カシ水量に注意して加工する必要がある。
2. 元白が長くなることがあるので、原草選別時と製織時に元白部分が莖面に混入しないよう注意して選別・加工する必要がある。

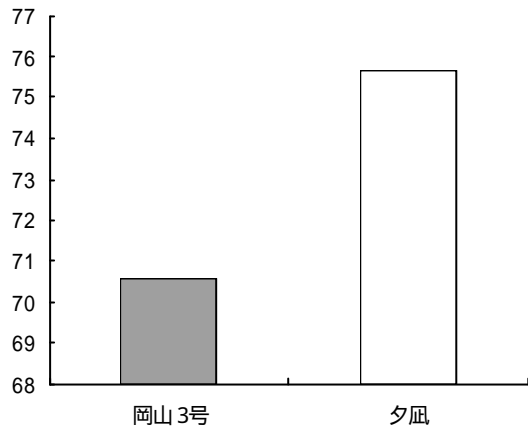


図1 茎の硬度 (%)

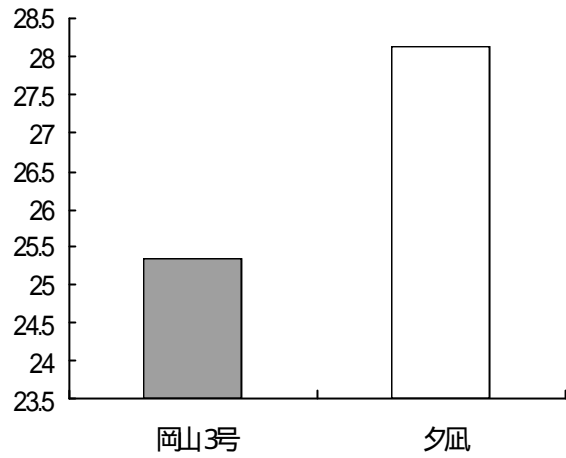


図2 500本あたり製織幅 (cm)

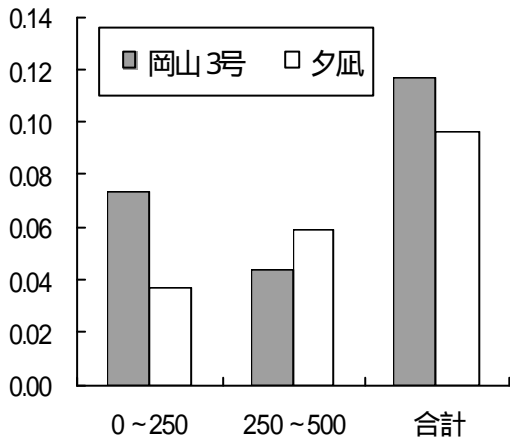


図3 茎の摩耗量 (500回 : mm)

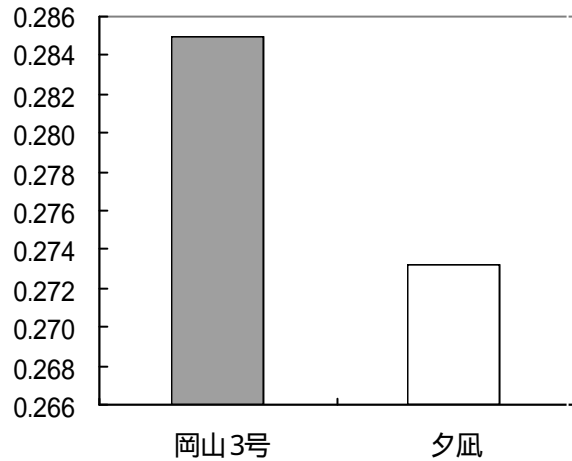


図4 畳表の摩耗量 (500回 : mm)

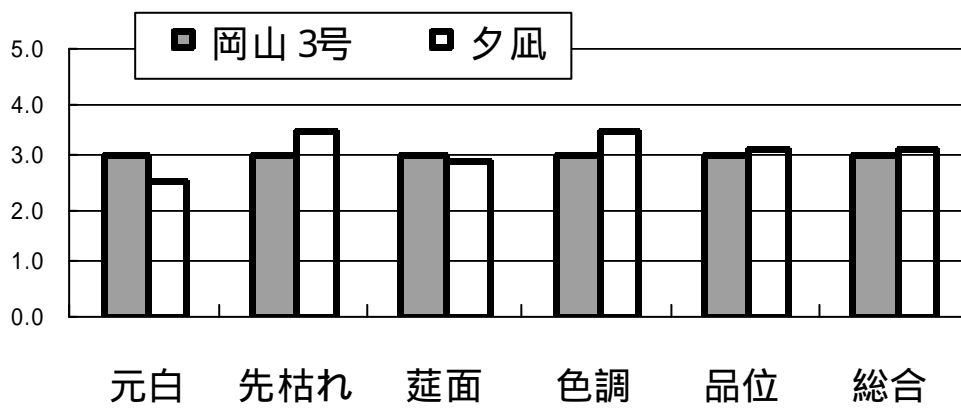


図5 畳表の品質評価

(標準点 : 3.00)